

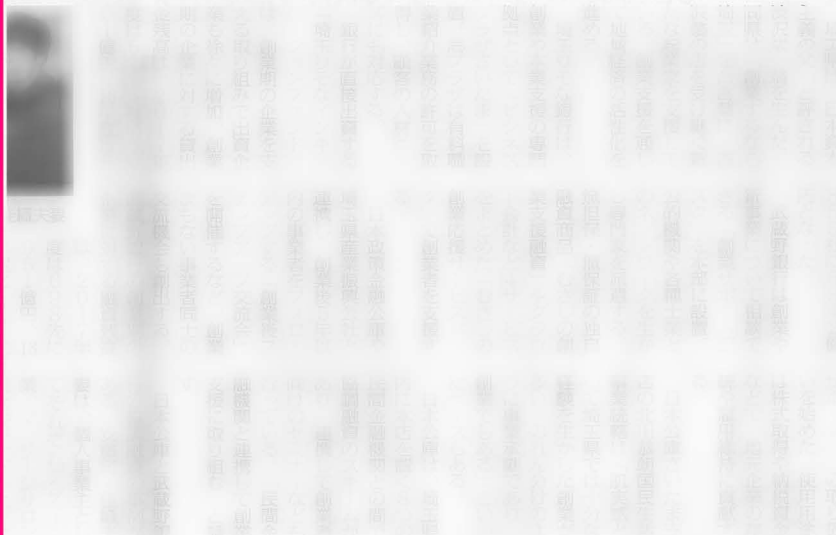
円滑な資金供給で県内産業界を支える

埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、日本政策金融公庫

埼玉県は、最大消費地である東京都に隣接する土地柄から、モノづくりに盛んなのはもちろん、市場としての魅力も大きい。事業拡大への意欲が旺盛なベンチャー企業や地域に根ざした優良企業が多く、これらを

支える金融機関の役割も増している。県内金融機関は創業支援にはじまり、健康経営、キャッシュレス化、昨今では台風や豪雨で被災した企業への支援など、円滑な資金供給により県内産業を支えている。

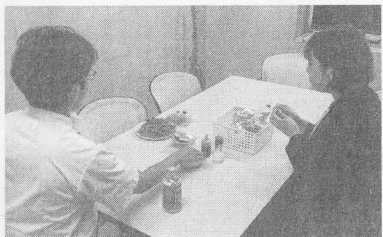
日本公庫、民間金融と協調融資
埼玉信金と事業承継応援窓口



光英科学研究所(和光市)は健康経営優良法人に3年連続で認定されるなど積極的に取り組んでいる。もともと、腸内環境改善に役立つ乳酸菌生産物質を製造・販売していることもあり、「ヘルスケアに従事する会社なので、社員にも健康な生活を送ってもらいたい」(小野寺洋子専務)と、健康診断や産業医との面談、健康に関する勉強会の開催、分煙対策などを推進してきた。

最近ではメンタルへ

ルスに配慮し対話を推奨して社員間のコミュニケーションを高めることで、より働きやすい環境作りを目指している。その一つが休憩室でのおやつ。休み時間の対話のきっかけにしてもらおうと、気軽に食べられる菓子などを常備。「昔は飲みみニケーションがあったが、最近はそのような機会が少ない。お酒が飲めない社員も多い」(同)という



「お菓子が話題となって対話のきっかけになることも…」と小野寺専務

事情もある。ほかにも年に2回、インスタラクターを呼んで、リラックスできる呼吸法を教えてもらうなど、さまざまな催しを企画。今後、スポーツレクリエーションも検討している。